

HOKKAIDO LIFELONG LEARNING PROMOTION CENTER



北海道立生涯学習推進センター

要 覧

2015

平成27年度事業計画

1 調査・研究

(1) 調査・研究

研究課題	研究テーマ	内 容
当面する課題に関する調査研究	持続可能な社会づくりの担い手づくり、体制づくりに関する調査研究Ⅰ	本道の当面する課題である人口減少や少子高齢化の進行に伴うコミュニティの低下など、持続可能な地域の在り方について北海道内の市町村における取組実態や意識等を整理する。また、生涯学習の視点から、人づくりや組織体制づくりなどのモデルプランを示すことにより、社会を生き抜く力を育み、持続可能なふるさとづくりに向けた道内の生涯学習振興行政に寄与することを目的に本調査研究を実施する。
生涯学習の振興に関する基礎調査	道内の生涯学習に関する各種データの調査及び分析	各市町村の生涯学習・社会教育行政の実態などについて、基礎データを蓄積して、全道的な傾向を把握し分析することにより、新たな課題を見出し、今後の北海道並びに市町村の生涯学習及び社会教育の振興に寄与することを目的に本調査研究を実施する。

(2) 企画・研究相談

事業名	期 日	対 象	内 容
企画・研究相談	通 年	市町村・市町村教育委員会職員、生涯学習指導者等	市町村教育委員会等の生涯学習・社会教育に関する相談に応じ、指導及び助言を行う。 ・生涯学習、社会教育の推進に関すること。 ・生涯学習、社会教育の調査・研究に関すること。 ・生涯学習、社会教育の文献・資料に関すること。

2 指導者の養成・研修

(1) 主催研修事業

事業名(会場)	期 日	定 員	対 象	内 容
課題対応型 学習活性化 セミナー (札幌市)	9月 3日(木) ～ 4日(金) (2日間)	40名	市町村及び市町村教育委員会職員、各種審議会委員(社会教育委員、生涯学習審議会委員など)、社会教育関係団体職員、生涯学習関連施設職員、民間団体(NPO、ボランティア、企業等)関係者等	地域住民が、現代課題への関心を高め、その課題解決に向けた主体的な行動を促す学習活動を活性化するために、他機関や団体等との連携・協力を含めた具体的な方策にかかわる専門的な知識や技術の習得に関する研修を行う。
遠隔学習 プログラム 研修講座 (札幌市)	8月 7日(金) (1日間)	30名	市町村・市町村教育委員会職員、学校職員、生涯学習関連施設職員、青少年教育関係職員、民間団体(NPO、ボランティア、企業等)関係者、その他(情報教育に関心のある方、地域の学習リーダー等)	遠隔学習による学習機会の提供の在り方及びその知識・技術等に関する研修を行うことによって、遠隔学習の推進の中核となる指導者の育成と産学官の情報のネットワーク化を図る。
生涯学習推進基本講座	道央会場 (倶知安町)	11月12日(木) ～13日(金) (2日間)	30名	人づくりと地域づくりに資する生涯学習を推進するための体制整備としての計画策定・評価及び事業企画に関する専門的な知識や技術などについて理解を深めるための研修を行う。 
	道南会場 (乙部町)	10月23日(金) (1日間)	30名	
	道北会場 (稚内市)	10月 8日(木) (1日間)	30名	
	道東会場 (釧路市)	7月 9日(木) (1日間)	30名	
生涯学習推進 専門講座 (札幌市)	11月 5日(木) ～6日(金) (2日間)	30名	同上	人づくりと地域づくりに資する生涯学習を推進するための体制整備としての計画策定・評価及び事業企画に関する専門的な知識や技術などについて理解を深めるための研修を行う。
地域生涯学習 活動実践交流 セミナー (札幌市)	平成28年 2月16日(火) ～17日(水) (2日間)	200名	生涯学習・社会教育を担当する行政職員、生涯学習・社会教育関連施設及び青少年教育施設等の職員、生涯学習・社会教育関係団体の職員、生涯学習・社会教育関係団体の各種委員等	本道における生涯学習活動の一層の推進を図るため、実践事例の交流等を通じ、北海道における生涯学習活動推進上の課題解決を図る。

平成26年度生涯学習推進基本講座(道央会場)の様子

(2) 自主研修団体受入事業

事業名	期 日	定 員	対 象	内 容
自主研修団体受入	通 年	—	市町村・市町村教育委員会職員、生涯学習・社会教育関係団体職員等	生涯学習・社会教育関係者等が行う自主的な研修に対する助言や指導等を行う。

(3) 職員派遣事業

事業名	期 日	定 員	対 象	内 容
職員派遣	通 年	—	「職員の講師派遣に関する取扱要領」に基づく対象団体が主催（主管）する研修会等	生涯学習・社会教育に関する研修会等主催する団体からの要請に基づき、職員を派遣し、研修会等において指導や助言等を行う。

3 学習情報の提供・相談

(1) 学習情報の提供

事業名	期 日	対 象	内 容
ホームページ『生涯学習ほっかいどう』	通 年	道民、行政関係者、学校教育関係者、社会教育関係団体等	道民の様々な学習活動を支援するため、インターネットで学習情報を提供する北海道の生涯学習情報のポータルサイトを運営する。 ＜主な提供情報＞ ・生涯学習情報データベース ・生涯学習の相談窓口 ・家庭教育支援・子育て支援 ・行政関係者情報 URL http://manabi.pref.hokkaido.jp/ 「生涯学習ほっかいどう」で検索
生涯学習情報紙『北のまなび』	季 刊	道民、市町村教育委員会等	道民の様々な学習活動を支援するため、生涯学習に関わるタイムリーな話題等を掲載した情報紙を発行する。
「研修だより」の発行	適 宜	市町村教育委員会等	当センター研修事業に関する内容等を広く提供することにより、本道の生涯学習の振興に資するために発行する。



(2) 学習相談等

事業名	期 日	対 象	内 容
学習相談『まなびウィング』	月～金曜日 (祝日・休日、 年末年始を除く) 9:00～17:00	道民、行政関係者、学校教育関係者、社会教育関係団体等	学習相談員等により道民の生涯学習活動支援のための学習相談を行う。 【相談場所】 ・かでの2・7ビル8階 生涯学習相談室（まなびウィング） 【相談方法】 ・面接による相談（直接来所） ・電話、ファクス、メール等による相談 【相談内容】 ・文献・資料、生涯学習計画・社会教育計画、社会教育調査・評価、施設・団体、学習機会・各種事業、講師指導者、資格・各種制度等
家庭教育相談『子育てカウンセリング』	火～金曜日 (祝日・休日、 年末年始を除く) 13:00～17:00 1回約1時間 (要事前予約)	子育てに関する不安や悩みを抱く親等	臨床心理士による無料の相談を行う。 【相談場所】 ・かでの2・7ビル8階 カウンセリング室 【相談方法】 ・原則として面接による相談 【申込方法】 ・予約受付 毎週月曜日～金曜日 9:00～17:00 (祝日・休日、年末年始を除く) 電話/FAX: 011-261-4545 E-mail: kosodate@manabi.pref.hokkaido.jp



(3) 生涯学習に関する資料の収集、展示及び提供



情報交流広場（まなびの広場＜9階＞）

広く道民に対して、道民カレッジ及び生涯学習の普及啓発に関する情報を提供するとともに、道内各市町村での生涯学習の取組について紹介したり、生涯学習関係団体の学習成果等の発表の場を提供するなど、学習者が互いに交流することができるよう、年間を通じて情報交流広場（まなびの広場）を開放する。

＜主な取組＞

- ・まなびの広場展の開催
- ・生涯学習に関する資料の展示・提供
- ・ふるさとコーナーの開設
- ・交流スペースの設置
- ・道民カレッジ情報コーナーの設置
- ・ビデオレファレンスコーナーの設置

4 学習機会の提供

道民カレッジ

☆道民の専門的・多様化する学習ニーズに対応するため、産学官の連携による生涯学習を支援する体制の整備を図り、様々な学習機会を体系的に構築・提供することによって、道民の生涯学習をより一層振興するとともに、自立した北海道を創造する人材を育成する。

〈道民カレッジ本部〉
学 長：北海道知事
(道生涯学習推進本部長)
副 学 長：北海道大学総長
北海道経済連合会会長
事務総長：北海道教育委員会教育長
事 務 局：道立生涯学習推進センター

◇生涯学習推進センター運営協議会
・専門部会

道民カレッジ事務局：受託者 公益財団法人北海道生涯学習協会

①入学申込み
⑤一定単位取得後、
称号等申請書提出

②カレッジ手帳の交付
⑥称号等の授与

主催講座

- ◆「ほっかいどう学大学インターネット講座」(H26～)
「ほっかいどう学」を題材とした、道内の参加大学によるインターネット講座
- ◆「ほっかいどう学地域活動推進講座」(H25～)
市町村や団体等との連携により実施する、地域活動やまちづくりに貢献する人材育成講座

③インターネットまたはDVD
視聴・レポート提出

④単位認定

③地域活動推進講座
申込み・受講

④単位認定

道

③講座申込み・受講

④単位認定

連携講座

- ◆道民カレッジに賛同する機関等
 - 道、道教委
 - 高等教育機関等
 - ・大学・短大・高専
 - ・専修・各種学校
 - 高等学校・特別支援学校
 - 市町村、市町村教委
 - カルチャーセンター
 - 試験研究機関
 - NPO、企業 など

民

③受検申込み・受検

④合格通知・単位認定

支援

ほっかいどう学ネット検定
//
ジュニア検定
(「ほっかいどう学」ネット検定実行委員会主催)

「ほっかいどう学」の定義

道民自身が、北海道（あるいは道内のそれぞれの地域）について、現在を見つめ、過去を知り、未来の在り方を考える協働の学びである。この学習によって、道民としてのアイデンティティを確立し、主体的に学ぶことによって培われる知識と能力を生かして、北海道づくり・地域づくりに参加する学習である。

道民カレッジ実施状況(平成27年3月31日現在)

◎ 受講者数：84,748人 ◎ 連携講座数：2,954講座
◎ 称号取得者数(延べ人数) ■ 学士：720名 ■ 修士：500名 ■ 博士：405名 ◎ 学長奨励賞：138名

5 教育メディアの利用促進

(1) 視聴覚教材の収集・整備及び貸出事業

事業名	期 日	対 象	内 容
視 聴 覚 教 材 収 集 ・ 整 備 事 業	通 年	官公庁、社会教育施設等、学校、社会教育関係団体、民間団体等	学習活動に必要な視聴覚教材を収集・整備し、市町村や関係団体の生涯学習活動を支援する。
視 聴 覚 教 材 貸 出 事 業	通 年	官公庁、社会教育施設等、学校、社会教育関係団体、民間団体等	学習活動に必要な視聴覚教材を貸出し、市町村や関係団体の生涯学習活動を支援する。

【インターネットによる教材検索・貸出】

生涯学習ほっかいどう 検索

<http://manabi.pref.hokkaido.jp/>

附属視聴覚センター

● 視聴覚教材を利用するには

教材検索

教材貸出

教材目録

(2) 視聴覚教材の利用方法

- ①視聴覚教材貸出カウンター（かでる2・7 9階 情報交流広場）
 - ・開設時間：月～金曜日 9：00～17：00（祝日・休日、年末年始を除く）
 - ・電 話：011-231-4111（内線36-345）
- ②インターネット <http://manabi.pref.hokkaido.jp/avc/index.html>

北海道教育の基本理念

自立共生 自然豊かな北の大地で、自立の精神にあふれ、夢や希望の実現に挑戦し、これからの社会を担う人を育む
心豊かに、ともに支え合い、ふるさとに誇りを持つ人を育む

基本理念の実現に向けて

- 社会で生きる実践的な力を育成します
- 豊かな心と健やかな体を育成します
- 信頼される学校づくりを推進します
- 地域全体で子どもたちを守り育てる体制づくりを推進します
- 北海道らしい生涯学習社会の実現をめざします

北海道立生涯学習推進センターの運営

1 基本方針

北海道立生涯学習推進センターは、本道における生涯学習振興の拠点施設として、市町村や高等教育機関及び産業界と連携を図りながら、社会の進展や地域の要請にこたえる事業を総合的に行い、道民のさまざまな学習が促され、それらの活動が豊かに展開されるよう支援します。



平成26年度生涯学習推進専門講座の様子

2 機能

(1) 調査・研究

生涯学習の推進に関する調査研究や学習支援方法等の開発を行うとともに、その成果の普及に努めます。
また、生涯学習に関する研究資料の収集及び保存に努めます。

(2) 指導者の養成・研修

生涯学習を推進する有志指導者の養成を行うとともに、生涯学習関係職員等の資質向上を図るため、各種研修を行います。

(3) 学習情報の提供・相談

生涯学習に関する情報の収集及び提供を行うとともに、各種相談に応じます。
また、家庭教育支援及び市町村行政機関関係者等への支援を行います。

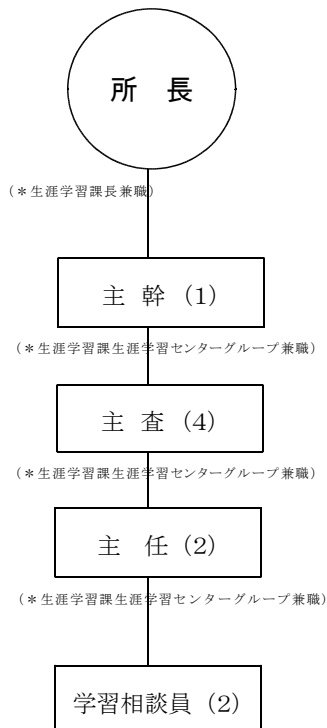
(4) 学習機会の提供

新しい北海道を創造する人づくり・地域づくりに関する学習機会の提供を行います。

(5) 教育メディアの利用促進

視聴覚教材の収集・整備及び貸出しを行い、市町村や関係団体の生涯学習活動を支援します。

センターの組織



センターのあらし

昭和49年 6月	— 北海道社会教育委員の会議の答申「社会の動向と道民の学習要求にこたえる社会教育の推進方策について」の中で「社会教育総合センター（仮称）」の設置を提言
昭和53年 6月	— 北海道社会教育委員の会議の答申「本道の社会教育施設の在り方について」の中で「道立社会教育センター」の早期設置について提言
昭和58年11月	— 北海道社会教育委員の会議の意見具申「社会教育行政の当面する課題と対応策について」の中で社会教育総合センター設置の基本計画の早期策定について提言
昭和63年 3月	— 北海道新教育長期総合計画に「北海道社会教育総合センター（仮称）」の設置・整備を位置付け
7月	— 「北海道社会教育総合センター（仮称）」設置基本構想を策定
平成元年10月	— 社会教育総合センター、社会福祉総合センター、婦人総合センター、ウタリ総合センターを複合した「センター会館（仮称）」建設工事着工
平成 3年 2月	— 施設愛称「かでの2・7」に決定
7月29日	— 北海道立道民活動センター条例制定
9月30日	— 「道民活動センタービル」竣工
11月14日	— 道民活動センタービル内に「北海道立社会教育総合センター」開設
12月 9日	— 北海道立社会教育総合センター運営協議会設置
平成 6年 4月 1日	— 「北海道生涯学習情報提供システム事業」運用開始
平成11年 7月30日	— 北海道生涯学習審議会提言「活力ある生涯学習社会の構築に向けた推進の在り方」で社会教育総合センターの生涯学習推進センターへの改組を提言
平成13年 4月 1日	— 「北海道立生涯学習推進センター」に名称変更
9月14日	— ほっかいどう生涯学習ネットワークカレッジ（道民カレッジ）開講式
平成14年 7月 8日	— 道民カレッジ称号取得者第1号誕生
平成23年 6月 1日	— 生涯学習推進局生涯学習課にセンター所長を兼職する生涯学習推進センター担当課長及び生涯学習センターグループを配置
平成27年 6月 1日	— 生涯学習推進局生涯学習課長がセンター所長を兼職。

● 施設の概要

名称 道民活動センタービル（かでる2・7）
 所在地 札幌市中央区北2条西7丁目1番地
 建築概要 建築面積 3,170㎡
 ー延床面積 20,554㎡
 ー建物構造 鉄骨鉄筋コンクリート造
 ー竣工 平成3年9月14日

生涯学習推進センター専有面積
 8階 463.3㎡
 9階 451.4㎡
 10階 163.5㎡
 1,078.2㎡

● 連絡先情報

<推進センター管理事務室>

〒060-0002

北海道札幌市中央区北2条西7丁目1番地 かでる2・7ビル(8階)

電話 **ダイヤルイン:011-204-5781**

011-231-4111 (内線番号)36-321 ~ 36-329

FAX 011-261-7431

ホームページ <http://manabi.pref.hokkaido.jp/>

生涯学習ほっかいどう

検索

<各窓口>

学習相談室『まなびウイング』

電話 011-231-4111 (内線番号)36-347

E-mail hlpc_wing@manabi.pref.hokkaido.jp

子育てカウンセリング予約電話

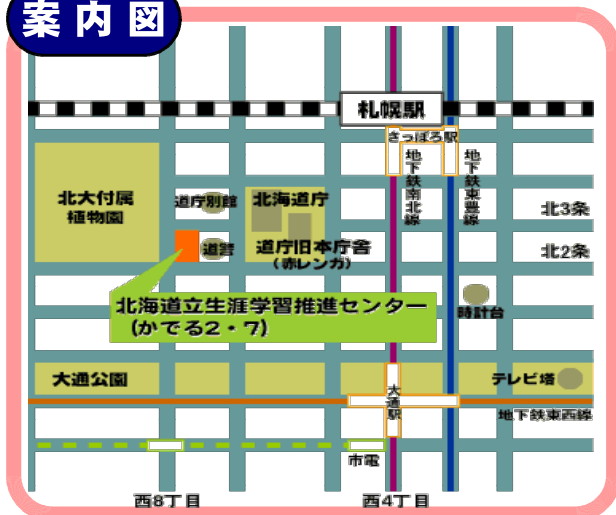
ダイヤルイン:011-261-4545

E-mail kosodate@manabi.pref.hokkaido.jp

情報交流広場 (内線番号)36-339

視聴覚教材貸出 (内線番号)36-345

案内図



道民カレッジロゴマーク
愛称「マナボー」



生涯学習のマスコット「マナビー」